

原っ子だより

本原小学校 学校だより

令和元年 7月9日

NO. 4

令和元年度130周年記念音楽会

6月14日、令和元年度130周年記念音楽会が開催されました。どの学年も特徴があり、工夫され、多くの感動につつまれました。すてきな音楽会になったと思います。

最高学年の6年生と、初めての音楽会であった1年生そしてPTAの皆様の演奏について紹介します。

1年生は、“みんななかよし1年生”のテーマで、歌は「青い空に絵をかこう」と「きょうも あしたも 1年生」、鍵盤ハーモニカ奏は「かっこう」を演奏しました。まだまだ入学してから2ヶ月と少しの1年生41人ですが、明るく元気いっぱい、弾むように歌いました。鍵盤ハーモニカでは、指の動きに気を配りながら一生懸命ふきました。会場全体が笑顔になれる演奏でした。

6年生は合奏が「ビゼー アルルの女・第二組曲より ファランドール」合唱は「HEIWAの鐘」と「この地球のどこかで」を演奏しました。合奏は、とってもかっこよくて、迫力がありました。合唱は美しく素敵なハーモニーを奏でていました。大きな口を開けて、本原小学校のリーダーらしい歌声でした。

PTAの演奏は、教養部の皆様が「パプリカ」を130周年記念バージョンにアレンジしてくださり、子どもたちも一緒に盛り上がることのできる本当に楽しい演奏でした。

素敵な音楽会 すべての方々に感謝です。

なかよし週間

6月25日～7月2日



なかよし週間には、「なかよし」についてクラスみんなで話し合い、「ちかいの言葉」を考えました。そしてそれぞれの思いを色紙にしるし、廊下に飾りました。なかよし週間中だけでなく、週間が過ぎても意識して過ごしています。

校長講話では、「ONE（ワン）」という絵本の読み聞かせをしました。子どもたちは、登場する色たちはどんな気持ちなのか、自分だったらどうするのかを考えながら聞きました。このお話の最後には、登場する色たちはみんな笑顔になるのですが、一番うれしかったのは誰かを全校で意見交換しました。自分なりの考えを発表し、全校でなかよしについて考え合うことができました。

全校が、みんなでなかよしの心を考え合えた1週間となりました。

5年生高原学習

6月27・28日の両日、湯の丸高原へ高原学習に行ってきました。

天気予報はあまりよくなかったですが、1日目、烏帽子岳の登山では、小烏帽子までのぼることができました。時折上田市内が一望でき、感動を共有しました。また、自分たちでどんどん行動できた飯ごう炊さん。思いっきり盛り上がったキャンドルファイヤー、友達といろいろな話のできた宿泊。どれも良い思い出になりました。

二日目は雨で室内での活動でしたが、自分だけの木工クラフト作品を完成させました。一人一人の個性あふれる素敵な作品ができあがりました。

5年生が「絆」「元気」「友情」「希望」「勇氣」「平和」をテーマにみんなで創り上げることでできた素晴らしい2日間であったと思います。

子どもたち成長と安全を願って

1 学期、子どもたちの成長と安全を願って、どのように進めていくべきか考えていたことがあります。「プレゼンタイム」と「運動会」についてです。

＜プレゼンタイムについて＞

昨年度からはじめたプレゼンタイム。昨年度子どもたちは、心をこめて、かっこうよく全校の前で本当に素晴らしい発表をしてくれました。そして、今年度、さらに「心をこめてつたえる」プレゼンタイムについて考えてきました。そして、すべての子どもたちが発表できるようなプレゼンタイムにしようということになりました。

そこで今年度は、130周年記念の祝う会の中で、すべての学年が発表するプレゼンタイムを実施します。それぞれの学年で考えた発表の中で、重点目標に迫れるようにしたいと思います。

「心をこめてつたえる」という力は、日々の授業や学校、家庭、すべての生活の中でつけていく重要なテーマです。「一人の友だちやおうちの人につたえる」「多くの人々に向かってつたえる」などのことを様々な場面で大切にしたいと考えています。心をこめてつたえることのできる子どもたちの育成に向かって、これから保護者の皆様と共に、様々な視点から考えていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

＜運動会について＞

暑さ対策など子どもたちの健康面を一番に考慮して、どのような運動会にしていくことが大切かを考えてきました。また、130周年記念運動会として、子どもたちや保護者の皆様と共に充実感を得られる行事するためにはどうすればよいかを考えました。

そこで、PTAの代議員会でも提案させていただきましたが、今年度は、日中の1番暑い時間帯をさけるため昨年度より早い時間からスタートし、午前中の開催とします。下校は12:20とします。昼食については、各家庭で、家族や運動会のために来校して下さった方々と、子どものがんばりや成果を話題にしながら過ごしていただくようお願いいたします。

以上の二点についてご理解、ご協力をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。